



東小だより

学校だより5月号
R3. 5. 31
昭島市立東小学校
校長 東口 孝正

新時代（Society 5.0 時代）を生きる東っ子

主幹教諭 柏木 光晴

校庭の木々の青葉が目立ち、日増しに暑さも厳しくなってきました。東小の子どもたちは、感染症対策のため、授業中だけでなく、休み時間にもマスクをつけて遊んでいます。私が担当する算数少人数教室にやってくる子どもたちは、休み時間が終わり汗ばんだ様子で教室に入っても、集中して授業を受けるなど、暑さにもコロナにも負けずに頑張っています。私は、その様子に感心するとともに、その頑張りに恥じない授業にしようとの思いで、子どもたちと切磋琢磨しながら、日々の授業に臨んでいます。

今年度より、児童1人に1台のPC端末が配備され、より一層のICT教育の推進が期待されています。本校でも、各教室に児童全員分のタブレット端末と充電ボックスが設置され、本格的な運用に向けて準備を進めています。

表題の『Society5.0』とは、私たちが生きている社会の段階を示しています。人類は、これまでに、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会と歩みを進めてきました。そして、新たな5つ目の時代（Society5.0）は、ビッグデータや人工知能（AI）を活用し、より一層の技術革新が進展する社会といわれています。

現代でも、暮らしの隅々にインターネットが活用され、知りたい豊富な情報を得たり、現金をもたずに料金の支払いをしたりと、改めて振り返ると、新たな社会に突入していることを痛感せずにはいられません。今後、10～20年程度で、「現在の半数近くの仕事が自動化される可能性が高いこと」や「将来子供たちの多くは、今は存在していない職業に就く」と予想され、わたしたちの暮らしや働き方は大きく変わるといわれています。そんな近い将来を見据えると、PC端末は、鉛筆やノートと並ぶマストアイテムとなり、子供たちは、小・中学校9年間を通して、ネット端末を自由自在に活用できる力を身に付ける必要があります。しかし、大切なことは、インターネットを活用することは、『目的』ではなく、『手段』であるということです。使い方を間違えると、自分自身や周囲にいる人を傷つけてしまったり、犯罪に巻き込まれたりするきっかけになるかもしれません。かくいう私自身も、インターネットを使用する際に自分の意図と違う使い方をしてしまうこともあり、そのたびに、反省したり、正しい使い方を確認したりしています。

「ICT」の「C」は、コミュニケーションを指し、使用するのも、つながる相手も「人間」であることを忘れてはいけません。使用する際は、ルールやマナーを確認して使用することが望まれます。東小の子供たちには、自分と同じ心をもった相手を思いやる優しさを同時に身に付けながら、活用する力を高めてほしいものです。インターネットを使用する際には、各家庭でルールを確認するなど安全に使用できるようにご協力をよろしくお願い申し上げます。